

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

| | | | |
|---|-------------------------------------|------------------------|---------------------|
| 1 都道府県・市区町村名 | 神奈川県・横浜市 | 2 補助事業の種類 | 地域文化遺産活性化 |
| 3 実施計画の名称 | 横浜市文化遺産による地域・学校・博物館活性化&文化遺産次世代継承プラン | 【計画の改善時期】 平成 年度 | |
| 4 実施計画期間 | 平成 27 年度 ～ 平成 33 年度 | | |
| 5 実施計画の概要 | | | |
| <p>横浜市では、昭和63年に制定された横浜市文化財保護条例に基づき、平成28年度までに無形民俗文化財を10件（うち指定が9件、登録が1件）、有形民俗文化財を18件（うち指定5件、登録13件）について、指定・登録を行ってきた。広大な市域にもかかわらず、次世代へ継承すべき文化財をこれまで着実に指定を進めてきたが、今後はその継続とさらなる市民へのPRにつとめ、世代を超えこれらの民俗文化遺産ともいべき文化財の継承・保存・活用を推進する。</p> <p>特に本事業で対象とする無形の民俗文化財は、仏教美術作品や美術工芸品、寺社の祭礼などとはことなり、地域の住民によって担われ、保存や継承を含む将来計画の策定が急務となっているものが中心である。本計画の実施により、民俗文化遺産の現代の担い手である地域、未来の担い手である学校（児童）、その記録・保存の役割を果たす博物館の相互連絡機能を築き、永続的な協力体制を確立することを目指す。</p> <p>また、「横浜市中期4か年計画 2014-2017」や「横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方（平成24年12月策定）」を踏まえ、市内の文化遺産を次世代に継承しつつ、あわせて、文化遺産を地域活性化に資する重要な財産として位置づけ、積極的に活用していくことを目的とした事業を実施している。また、当方針は本市がこれ以降に策定する新たな事業計画等においても継続する予定 ※「横浜市中期4か年計画」「横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方」の該当部分については別添のとおり</p> | | | |
| 6 実施体制 | | | |
| <p>横浜市が本実施計画にかかわる企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。</p> <p>主な担当課、役割、補助事業は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課（役割）：横浜市教育委員会生涯学習文化財課 （各補助事業における文化財の取り扱い等に関する指導・調整等） 横浜市文化観光局文化振興課（実施団体と会場施設、地域団体との連絡調整等） ・補助事業の実施団体：横浜市民俗文化遺産活性化事業実行委員会（構成団体：横浜市教育委員会、公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団、横浜市歴史博物館、「鶴見川流域の廻り地蔵」保存団体、「下飯田の廻り地蔵」保存団体、鉄古典獅子舞保存会、天王町商店街協同組合ほか随時無形民俗文化財保存団体等を構成団体として追加予定） | | | |
| 7 実施計画における目標と期待される効果 | | 別紙①のとおり | |
| 8 補助事業の概要 | (1) 補助金額 | ～平成30年度交付決定額： 9,590 千円 | 平成31年度申請額： 1,355 千円 |
| (2) 実施事業の概要 | | 別紙②のとおり | |
| 9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・専門家によるボランティアガイド団体への指導により、地域の歴史や文化的な知識を継承する人材を育成するとともに、市内外からの観光客へ、横浜の歴史や文化を紹介する機会を増やすことができる。 ・無形民俗文化財に関するワークショップを実施し、伝承地区内での小学校児童や保護者世代への普及を図ることができる。 ・神奈川県及び横浜市指定無形民俗文化財において使用する用具等の修繕をおこない、習俗及び民俗芸能の安定的な実施が期待される。 ・子ども歌舞伎公演は子どもたちとおとなたちが共に作り上げており、地域の世代間交流が図られる。 ・歌舞伎公演によって地域の文化遺産が活用され、次世代へ継承されていくとともに、地域ブランドの醸成・地域の活性化が期待される。 ・市民による歌舞伎の保存・継承活動によって、日本の伝統文化を身に着けた人材育成が図られる。 | | | |

| | |
|---|------------------|
| 10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など） | |
| 事業概要： | なし |
| 事業概要： | なし |
| 事業概要： | なし |
| 11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等 | |
| 文化財保存活用地域計画を平成33年度までに策定予定。 | |
| 12 担当部局 | |
| 地方公共団体 担当部局課 | 教育委員会事務局生涯学習文化財課 |

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

| | | | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|----------|--|
| 目標区分1: | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | | |
| 評価指標区分1: | 地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標1: | 「歴史ガイド+ (プラス)」受講資格認定者によるガイドの利用者数 | 関連事業: | | 事業① | | |
| 目標値1: | 【現状値】 平成 28 年度 581 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 700 人 | | | | | |
| 設定根拠1: | 状態も様々である地域文化遺産への来場者数をカウントすることは困難であるため、市の文化遺産への興味関心を持つ人数を把握し得る指標を設定した。 | | | | | |
| 進捗状況1: | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 653 人 | 739 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| 61% | 133% | | | | | |
| 目標区分2: | その他 | | | | | |
| 評価指標区分2: | ・その他 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標2: | 主催者および参加者によるワークショップに関するSNSでの発信および、一般利用者による「いいね」の枚 | 関連事業: | | 事業② | | |
| 目標値2: | 【現状値】 平成 29 年度 30 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 40 人 | | | | | |
| 設定根拠2: | SNSでの発信、情報の拡散を数年継続することにより約30%増の数字を得ることを目標に設定。(変更) | | | | | |
| 進捗状況2: | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 104 人 | 134 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| 740% | 1040% | | | | | |
| 目標区分3: | 地域の文化資源を活用した集客・交流 | | | | | |
| 評価指標区分3: | その他 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標3: | 博物館での調査報告展 (兼指定展) の来場者数 | 関連事業: | | 事業③ | | |
| 目標値3: | 【現状値】 平成 28 年度 3,642 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 3,500 人 | | | | | |
| 設定根拠3: | 調査研究成果の刊行、地域への配布によって興味関心を持つ人の数の増を計れる目標を設定。 | | | | | |
| 進捗状況3: | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 6,194 人 | 6,785 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| -1797% | -2213% | | | | | |
| 目標区分4: | 伝統文化の継承体制の維持・確立 | | | | | |
| 評価指標区分4: | 祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標4: | 保存会会員数 (白山町廻り地蔵講及び池辺町藪根の廻り地蔵講) の変化 (維持) | 関連事業: | | 事業④ | | |
| 目標値4: | 【現状値】 平成 28 年度 102 戸 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 102 戸 | | | | | |
| 設定根拠4: | 保存会の性質上大幅な増加は見込めないが、市の文化財指定当時から自然減を見込んだ行事の維持に欠かせない保存会の構成員戸数。 | | | | | |
| 進捗状況4: | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 102 戸 | 102 戸 | 戸 | 戸 | 戸 | 戸 | |
| #DIV/0! | #DIV/0! | | | | | |

| | | | | | | |
|------------|---|----------|----------|----------|----------|--|
| 目標区分 5 : | 伝統文化の継承体制の維持・確立 | | | | | |
| 評価指標区分 5 : | 祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 5 : | こども歌舞伎に参加する小中学生 | | | 関連事業: | 事業⑤ | |
| 目標値 5 : | 【現状値】 平成 29 年度 8 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 15 人 | | | | | |
| 設定根拠 5 : | 現在の参加者数を基準に計画終了までに概ね倍の参加を得ることを目標に設定 | | | | | |
| 進捗状況 5 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 3 人 | 13 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| -71% | 71% | | | | | |
| 目標区分 6 : | その他 | | | | | |
| 評価指標区分 6 : | ・その他 (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標 6 : | 神楽殿の利用度 (歌舞伎の稽古・公演、御神楽の稽古・公演等を行っている) | | | 関連事業: | 事業⑥ | |
| 目標値 6 : | 【現状値】 平成 29 年度 15 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 30 回 | | | | | |
| 設定根拠 6 : | 現在の利用度を基準に計画終了までに概ね倍の利用を得ることを目標に設定 | | | | | |
| 進捗状況 6 : | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 30 回 | 30 回 | 回 | 回 | 回 | 回 | |
| 100% | 100% | | | | | |

8 (2) 実施事業の概要 別紙

| | | | | | | | | | | | |
|----------------|--|----------|----------|----------|----------|----------------|---------------------|--|--|--|--|
| 事業①： | ボランティアガイド育成「歴史ガイド+（プラス）」事業 | | | | | 実施団体： | 横浜市民俗文化遺産活性化事業実行委員会 | | | | |
| 事業区分： | 人材育成 | | | | | 事業期間： | 平成 29 年度 ～ 平成 31 年度 | | | | |
| 事業概要： | (公財) 横浜市ふるさと歴史財団が運営する各博物館施設の学芸員および外部から招聘する特別講師が、ボランティア団体会員を対象に、講座や実地での研修を通じて資格認定を行う。 | | | | | | | | | | |
| 評価指標区分： | ・ボランティアガイド利用者数 | | | | | (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標： | 「歴史ガイド+（プラス）」受講資格認定者によるガイドの利用者数 | | | | | | | | | | |
| 目標値： | 【現状値】 平成 28 年度 581 人 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 700 人 | | | | | | | | | | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | | | | | | |
| 653 人 | 739 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | | | | | | |
| 61% | 133% | | | | | | | | | | |
| 横浜市が本実施計画にかかわる | つなぐ・伝える「廻り地蔵」体験ワークショップ | | | | | 実施団体： | 横浜市歴史博物館・各保存団体 | | | | |
| 事業区分： | 普及啓発 | | | | | 事業期間： | 平成 29 年度 ～ 平成 31 年度 | | | | |
| 事業概要： | 横浜市指定無形民俗文化財「鶴見川流域の廻り地蔵」のレプリカを用いたワークショップを開催し、未来の伝承者となる子ども達や保護者への普及啓発を行う。 | | | | | | | | | | |
| 評価指標区分： | ・その他 | | | | | (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標： | 主催者および参加者によるワークショップに関するSNSでの発信および、一般利用者による「いいね」の数 | | | | | | | | | | |
| 目標値： | 【現状値】 平成 28 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 人 | | | | | | | | | | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | | | | | | |
| 104 人 | 134 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | | | | | | |
| #DIV/0! | #DIV/0! | | | | | | | | | | |
| 事業③： | 横浜市指定・登録文化財を支える地域の記録作成事業 | | | | | 実施団体： | 横浜市歴史博物館・各保存団体 | | | | |
| 事業区分： | 調査研究 | | | | | 事業期間： | 平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 | | | | |
| 事業概要： | 横浜市指定無形民俗文化財を現在に伝える横浜市緑区白山地区を対象に民俗調査を実施する。継続して刊行している街のくらしを記録した報告書を作成し、市内図書館、地区センター等へ配布し、広く理解を促進する。 | | | | | | | | | | |
| 評価指標区分： | ・その他 | | | | | (具体的な指標は次のとおり) | | | | | |
| 具体的な指標： | 博物館での調査報告展（兼指定展）の来場者数 | | | | | | | | | | |
| 目標値： | 【現状値】 平成 29 年度 6,194 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 3,500 人 | | | | | | | | | | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | | | | | | |
| 6,194 人 | 6,785 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | | | | | | |
| 0% | -22% | | | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|----------|----------|----------|---------------------|--|
| 事業④： | 次世代への継承に向けた横浜市指定・登録文化財の修復事業 | | | 実施団体： | 横浜市歴史博物館・池辺町藪根廻り地蔵講 | |
| 事業区分： | 用具等整備 | | | 事業期間： | 平成 27 年度 ～ 平成 33 年度 | |
| 事業概要： | 横浜市指定無形民俗文化財「廻り地蔵」のうち、保存団体「池辺町藪根廻り地蔵講（都筑区池辺町）」が使用している地蔵菩薩像と厨子の修繕をする。 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・保存会会員数の変化（維持） | | | | （具体的な指標は次のとおり） | |
| 具体的な指標： | 保存会の性質上大幅な増加は見込めないが、市の文化財指定当時から自然減を見込んだ行事の維持に欠かせない保存会の構成員戸数 | | | | | |
| 専門家によるボランティアガイド団体への指導による | 【現状値】 平成 29 年度 47 戸 ⇒ 【目標値】 平成 31 年度 45 戸 | | | | | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 47 戸 | 47 戸 | 戸 | 戸 | 戸 | 戸 | |
| 0% | 0% | | | | | |
| 事業⑤： | 保土ヶ谷こども歌舞伎 | | | 実施団体： | 天王町商店街協同組合 | |
| 事業区分： | 人材育成 | | | 事業期間： | 平成 29 年度 ～ 平成 33 年度 | |
| 事業概要： | こども歌舞伎ワークショップ（体験・稽古）：8月から11月（全16回）参加者5名 講師：立花志穂 安田 基礎稽古・演目稽古 保土ヶ谷こども歌舞伎本公演：平成31年11月24日（日） 2回公演 会場：橘樹神社神楽殿 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・その他 | | | | （具体的な指標は次のとおり） | |
| 具体的な指標： | 参加する小中学生数（4年間を通して参加者を募り、多くの子供たちに歌舞伎の担い手になってもらう） | | | | | |
| 目標値： | 【現状値】 平成 29 年度 8 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 15 人 | | | | | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 3 人 | 13 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| -71% | 71% | | | | | |
| 事業⑥： | 保土ヶ谷こども歌舞伎 | | | 実施団体： | 天王町商店街協同組合 | |
| 事業区分： | 普及啓発 | | | 事業期間： | 平成 29 年度 ～ 平成 33 年度 | |
| 事業概要： | こども歌舞伎ワークショップ（体験・稽古）：8月から11月（全16回）参加者5名 講師：立花志穂 安田 基礎稽古・演目稽古 保土ヶ谷こども歌舞伎本公演：平成31年11月24日（日） 2回公演 会場：橘樹神社神楽殿 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・その他 | | | | （具体的な指標は次のとおり） | |
| 具体的な指標： | 神楽殿の利用度（歌舞伎の稽古・公演、御神楽の稽古・公演等を行っている） | | | | | |
| 目標値： | 【現状値】 平成 29 年度 15 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 30 回 | | | | | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 30 回 | 30 回 | 回 | 回 | 回 | 回 | |
| 100% | 100% | | | | | |

| | | | | | | |
|----------|---|----------|----------|----------|---------------------------------------|--|
| 事業⑦： | 次世代への継承に向けた神奈川県及び横浜市指定・登録文化財の修復事業 | | | 実施団体： | 鉄古典獅子舞保存会・神奈川県教育委員会・横浜市教育委員会・横浜市歴史博物館 | |
| 事業区分： | 用具等整備 | | | 事業期間： | 平成 31 年度 ～ 平成 31 年度 | |
| 事業概要： | 横浜市青葉区鉄町に伝承される神奈川県指定無形民俗文化財「鉄の獅子舞」で使用される獅子頭等の修繕を実施する。 | | | | | |
| 評価指標区分： | ・保存会会員数の変化（維持） | | | | (具体的な指標は次のとおり) | |
| 具体的な指標： | 自然減を見込んだ保存会の構成員人数の維持 | | | | | |
| 目標値： | 【現状値】 平成 30 年度 30 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 30 人 | | | | | |
| 進捗状況： | 各年度、状況値、目標に対する達成率 | | | | | |
| 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 平成 31 年度 | 平成 32 年度 | 平成 33 年度 | 平成 34 年度 | |
| 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | 人 | |
| | | | | | | |